

都内における再生可能エネルギーの利用状況調査(2014年3月)

【調査目的】

今後のさらなる再生可能エネルギー普及拡大に向けた基礎データ把握のため、今回、2012年度を対象とした調査を実施しました。

【調査方法】

再生可能エネルギーの利用量については、次の電力量を試算し集計しました。

- ・ 都内に設置された再生可能エネルギー発電設備による電力で、その場で消費されるもの
- ・ 東京電力から供給される、水力発電等既存の再生可能エネルギー発電設備による電力を、都内販売電力量割合で按分したもの
- ・ 再生可能エネルギーの固定価格買取制度により新たに稼動した発電設備による電力を、都内販売電力量割合（賦課金の負担割合）で按分したもの

【調査結果】

都内における、再生可能エネルギーにより発電された電力の利用量は、約48億kWhと推計されます。

都内の2012年度における電力消費量は約800億kWhであるため、都内の再生可能エネルギーによる電力の利用割合は、約6%に相当します。

区 分	電力量 (百万kWh)
都内に設置された再生可能エネルギー発電設備による利用量 ¹⁾	
太陽光発電	108
バイオマス発電	24
廃棄物発電	346
小計(A)	478
電気事業者からの供給による利用量 ²⁾	
既存の再生可能エネルギー発電(東京電力の水力発電等) ³⁾	4,228
再生可能エネルギーの固定価格買取制度による新規の再生可能エネルギー発電	133
小計(B)	4,361
都内における再生可能エネルギー電力利用量(A)+(B) ⁴⁾	4,839

(注記)

- 1) 電気事業者に販売された電力は除く
- 2) 発電量を都内販売電力量で按分し、送配電ロスを考慮して推計
- 3) 水力発電には、揚水発電（火力等の余剰電力によって汲み上げた水を落下させて発電する方式）は含まない
- 4) 電力利用量だけでなく都内における再生可能エネルギー熱利用量を考慮した、エネルギー消費全体における再生可能エネルギー利用割合は約2.7%に相当する